

「恒吉小学校の野町そば切り踊り伝承活動の取組」

1 学校名

曾於市立恒吉小学校

2 学年・人数

1年生 3人 2年生 2人 3年生 3人
4年生 4人 5年生 1人 6年生 3人 計16人

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

令和元年10～12月	体育の時間，音楽の時間	(本校体育館)
令和2年1月	体育の時間，音楽の時間	(本校体育館)
令和2年1月22日(水)	そば祭りリハーサル	(本校体育館)

(2) 発表の日時・場所

令和2年1月24日(金)	そば祭り(本校体育館)
令和2年2月16日(日)	恒吉校区民祭(恒吉校区公民館)

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事について

(1) 名称

野町そば切り踊り(のまちそばきりおどり)

(2) 由来

「そば切り踊り」は，浅井の西川義雄が来て教えたといわれる。もとは青年たちが踊っていたが，恒吉農協婦人部長の能見すな子の肝煎りで，婦人たちが踊るようになった。

(3) 構成等

踊りは労働作業の踊りに分類され，そばをつくるところから売り歩き，売上を計算するところまでを7～8人が歌をうたいながらユーモラスに踊る。楽器は三味線と太鼓である。服装は着物が紫地の絆纏型で，袖は元禄袖，襟には両襟，胸の所に金銀紙を交互斜めに貼る。着物の下に桃色のお腰をし，帯は伊達巻で頭にタオルをかぶる。しぐさをする人は歌を歌わないでしぐさだけをし，周囲の踊り子が一緒に歌をうたう。そして，踊る人はしぐさと歌ごとに入れ替る。

5 保存会や地域との連携の具体

野町そば切り踊り民芸保存会の方から，踊りや歌，太鼓などについて指導をしていただいた。また，そば切り踊りの練習・リハーサルの様子を見ていただき，歌い方，踊り方について助言をいただいた。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

本校の特色ある教育活動である「そば祭り」は、そばの収穫を祝って、地域の方々と子供たちが共に会食する活動である。「そば祭り」は、野町そば切り踊り民芸保存会の方々も来校されるよい機会である。

そこで、「そば祭り」の際に、地域の方々に、方言を交えたユーモラスなそば切り踊りを披露することで、子供たちに、そば切り踊りがずっと受け継いでいく価値のあるものであることを実感できるようにした。

また、地域の方々にとっても、曾於市の指定文化財であるそば切り踊りが、本校の子供たちが継承していることに喜びを感じる機会となっている。

7 取組の様子（練習状況、発表の場等）



練習風景(そば切り踊り)



練習風景(そば切り踊り)



そば祭り(そば切り踊り)



そば祭り(そば切り踊り)

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

【児童】

- ・ そば切り踊りを地域の方々がとても喜んでくれたのでうれしかった。これからも、そば祭りでも、地域の方々にそば切り踊りを見せたい。

【保護者】

- ・ そば祭りや校区民祭で、たくさんの人たちを前にしてそば切り踊りを披露して、度胸がついたと思う。

【保存会】

- ・ 恒吉小学校の子供たちが、そば切り踊りを大事に思ってくれていることがうれしい。今後も、恒吉小学校の伝統として続けてほしいと思う。

【教職員】

- ・ 本校の特色ある教育活動の一つとして、そば切り踊りを子供たちと取り組み、本校の伝統になればよいと思う。